

令和5年度事業報告書

ともえ学園

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を行いながら、質の高いサービスを提供を行えるよう多方面にわたるさまざまな取り組みを行った。

破壊や老朽化した箇所修理、交換等を随時行った。

各部署、各係の取り組みについても基本理念、重点事項を踏まえ、次のとおり令和4年度事業を実施した。

事業

①施設入所支援事業	定員70名	内訳	男性66名	女性4名
②生活介護事業	定員70名	内訳	男性66名	女性4名
③短期入所事業	定員2名			
④日中一時支援事業	定員若干名			

基本理念

ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の尊厳にふさわしい施設支援を保障し、必要なサービスを提供する。

- ①利用者の人格、生活史そして要求を尊重し、施設入居によって本人の尊厳や利益が損なわれないよう、相手の立場をよく理解する。
- ②利用者には、社会生活上の知識や文化的な刺激を受けられるよう積極的な生活の援助を怠らない。
- ③利用者の人格や行動を情緒豊かに受け止め、共感し、共に向上できる職員となる。

重点事項

- ①利用者中心の質の高いサービスを提供する個別支援計画の作成とモニタリング
個別支援会議の充実、ご家族の参加
- ②高齢化への対応と機能低下の防止、感染症予防対策
- ③強度行動障害への取り組み、強度行動障害支援者養成研修受講
- ④日中活動の充実 活動系の拡充と専従
- ⑤虐待防止に対する取り組み
- ⑥職員研修、人材育成の取り組み
- ⑦職員の健康推進、ストレスチェック、各種依存症のチェック
- ⑧建物設備、備品の保守管理、営繕、更新 壁の修繕、厨房機器保守管理
- ⑨安全と日常の危機管理
あらゆる危機、危険を想定した環境と防災設備の整備と訓練。
労働災害を発生させないための研修と適切な作業着、作業用品の提供
- ⑩広報活動
ホームページ、フェイスブック、ブログ等を活用したタイムリーな情報の提供

1 利用者の状況

①年間の入退所者状況

定員70名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月初在園数	69	70	70	70	70	68	69	70	70	70	70	70
入所	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
月末在園数	70	70	70	70	68	69	70	70	70	70	70	70

②短期入所事業受入状況

定員2名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
受入人数	2	3	2	2	3	2	2	3	2	2	2	2	27
受入回数	3	4	4	2	5	2	4	4	3	2	2	2	37
受入延日数	32	49	39	34	42	34	36	42	38	37	36	39	458

③日中一時支援事業受入状況

定員 若干名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
受入人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受入回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受入延日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④在所者状況（令和6年3月31日現在）

年 齢	男	女	計
18～20歳未満	0	0	0
20～25歳未満	1	1	2
25～30歳未満	1	0	1
30～35歳未満	3	1	4
35～40歳未満	4	0	4
40～45歳未満	6	0	6
45～50歳未満	13	0	13
50～55歳未満	14	0	14
55～60歳未満	15	2	17
60～65歳未満	8	0	8
65～70歳未満	1	0	1
計	66	4	70

在 園 年 数	男	女	計
0～1年未満	2	0	2
1～5年未満	1	1	2
5～10年未満	2	0	2
10～15年未満	6	0	6
15～20年未満	6	0	6
20～30年未満	8	0	8
25～30年未満	26	2	28
30～35年未満	1	1	2
35～40年未満	13	0	13
計	66	4	70

診 断 名	男	女	計
自閉症	49	2	53
精神発達遅滞	10	1	10
てんかん	4	0	4
統合失調症	1	1	2
その他	1	0	1
計	66	4	70

障害支援区分	男	女	計
6	29	1	30
5	29	3	32
4	8	0	8
3	0	0	0
計	66	4	70

出身市区町	広島市中区	広島市東区	広島市南区	広島市佐伯区	広島市安佐北区	広島市安佐南区	広島市安芸区	大竹市	呉市	福山市	廿日市市	三次市	東広島市	尾道市	竹原市	江田島市	庄原市
男	3	2	4	10	3	4	1	2	9	5	1	4	1	2	1	1	2
女	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
計	4	3	5	10	3	4	1	2	9	6	1	4	1	2	1	1	2

安芸郡熊野町	世羅郡世羅町	島根県松江市	島根県飯南町	山口県周南市	山口県岩国市	山口県下関市	長崎県長崎市	東京都渋谷区	計
2	1	2	1	1	2	1	1	1	66
0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
1	1	2	1	1	2	1	1	1	70

2 トライアングルグループ

①グループ目標

利用者自身の自己決定、自己選択を尊重する。

ひとり一人が安定した生活を送られるよう、明るく過ごしやすい生活環境と個別配慮された生活パターンを支援、提供していく。

②まとめ

利用者25名、職員11名でスタートする。職員は3名の異動があったが利用者さんに大きな混乱はなかった。職員については2月に1名新規入職し、12名となった。

今年度は新型コロナウイルス感染症対応も緩和され、お楽しみ外出でコンビニでの買い物も可能になった。9月にグループレクも開催予定だったがグループ内で2名の利用者さんが新型コロナウイルス感染症に感染し、個室対応となった為10月に延期となったが開催できた。6月に女性利用者さんが服薬調整のため他の医療機関へ入院となり、8月に入院先の病院にて致死性不整脈のため亡くなった。その為、10月から女性1名が入所された。また、男性利用者さん1名が12月に服薬調整のため他の医療機関へ入院となり3月に退院された。

クラブ活動は昨年に続いて枝木運びで、利用者さんにも分かりやすい活動内容だった。午後から、日中活動職員の支援による午後活動の作品作り等も楽しみにされる利用者さんもおられた。作品展示会についても日々制作していた作品を観てもらう事ができ良かった。作品展示会後は個別活動で、塗り絵やマシンを使用して体力作りも行い少しずつ定着しているので継続していきたい。

利用者さん同士のトラブルもあるため利用者さんの関係には注意し怪我のないように元気に生活してもらいたい。そして今後も利用者さんの人権を守り、安全で安心した生活が送れるよう統一した支援をおこなう。

3 レインボーグループ

①グループ目標

言語的、非言語的コミュニケーションのあり方を取り入れた対応をし、安定して穏やかに生活できるよう個別配慮をした支援をする。

体力作り、健康保持を考慮したプログラムを考える。

安全で清潔な生活環境を提供する。

生き甲斐を持てる生活を目指す。

②まとめ

2名の職員が異動、利用者さん21名、職員11名でスタートする。4月に1名の利用者さんが入所され、9月に1名の利用者さんが入所される。今後も利用者さんの生活を第一に考えて他のグループとも協力してより良い生活空間の提供に努める。

クラブ活動は月～金曜日の午前に行った。きのこクラブは、遊歩道の枝木運びや、水槽浸け、水槽上げ、椎茸菌の植菌やホダ木運びを行った。いきいきクラブは、学園周りや室内のウォーキングやYouTubeの映像を見ながらリズム体操を行った。今年度からウォーキングクラブを創設。日勤職員が担当し、遊歩道や学園周りのウォーキングを行った。午後からはウォーキングが中心で、遊歩道や学園周り、室内と分かれて歩いてもらった。

夏の暑い時期と冬の寒い時期は屋外での活動は控え、できるだけ活動センタースロープやプレイルームのウォーキングを行った。場所を変えることで気持ち切り替えてもらえるようにした。

新型コロナウイルス感染症の流行の為、面会外出や外泊をする事が出来なかったり、日帰り旅行や喫茶店での飲食が今年度もできなかった。面会外出は3月中旬よりできるようになった。

9月に新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認され、利用者12名と職員4名が感染した。全員軽症で無事に回復された。その他、入院はなかったが、骨折が1名、裂傷により受診をされた方が3名おられた。頻繁に痣ができる方や反芻をされる方など健康面で支援が必要な方が増えてきている。

利用者さんの状態の変化に一早く気付けるように普段の様子観察をしっかりと行っていく。

4 はなまるグループ

①グループ目標

利用者の個性や行動を理解し、自己選択、自己決定を尊重、健康で豊かな生活を支援する。

清潔で安心して生活して頂ける個別配慮された環境を提供する。

②まとめ

今年度は新しい職員を2名迎え新たな体制で臨んだ。7月には新型コロナウイルス感染症に職員2名、利用者2名が罹患した。6月末、一人の利用者が食堂で転倒し約20日間入院した。8月、かねてより療養中だった利用者さん一名が亡くなられた。午前の活動は日中活動課主導の元、活動を行った。会議などを利用し随時改善を行い、活動内容は定着出来てきている。午後の活動は、ウォーキングを中心として取り組んだが、感染症蔓延防止のため取り組めなかった時期もある。ポッチャは、徐々に利用者主体で楽しんで行えるようになってきている。土曜日は、引き続きグループ活動として3つのグループに分かれ、少人数ずつで物作りの時間を設け、11月の作品展示会では来園したご家族にも披露することができた。

5 日中活動

①目的：活動の企画、運営を行う。

活動センター、学園周辺の清掃、環境整備を行った。

②まとめ・反省

感染症対策による室内での静養期間の長期化と室内で過ごす時間が増えたことで、身体活動を行う活動の企画が困難であった。主に下肢の筋力の低下と体重の増加となり次年度に向けての課題となった。次年度に向けて少人数で運動を取り入れた午後の日課も考えていきたい。

6 医療

①目的

バイタルサイン、症状の観察

受診判断、受診引率、入退院調整、産業医、嘱託医との連携

外傷時、病気静養時の対応

スキンケア、フットケア

口腔ケア、口腔健康管理、歯科受診

生活習慣病予防一定期健康診断、歯科健診、健康増進、介護予防の実施

アルコール同定テスト、ニコチン依存度テスト（53名）

肝疾患対策

難病対策

がん対策

感染症対策－新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス、ノロウイルス予防策の実施と指導、肝炎ウイルス検査の実施とワクチン接種、その他感染症対策

熱中症予防対策

自閉症、精神遅滞、統合失調症、発達障害、強度行動障害の治療と看護

医療安全、医薬品や医療機器管理及びガイドライン作成、実施、評価

②まとめ

新型コロナウイルスのクラスター発生はあったが経験を活かし、感染状況に応じた必要な感染対策のマニュアルを作成した。社会情勢に応じ、都度マニュアルの見直しを行った。

今年度は、医師の指示の元、流行時期における面会、外出、外泊等は中止とし園内蔓延予防とした。

必要な対策を周知徹底し、職員の園内持ち込み防止に日々取り組んだが、園内へ持ち込みがありクラスター発生となった。前回の経験を活かし早期の終息を目標とした。社会情勢にも合わせ個室対応の短縮も行った。

歯科研修をグループ会議の時間に15分間時間を確保し、①歯周病について②う歯について③有効な歯の磨き方についてを行った。支援者全員が意識して支援出来るようにしていきたい。

7 栄養食生活

利用者に安全な食事を提供行うため、適性な衛生管理を行った。旬の食材の利用や行事食を取り入れ季節感のある彩り、盛り付けに配慮したメニューを作成した。嗜好

の把握や食事形態などを調整し、個々の嗜好や栄養状態、摂食状況にあった食事を提供した。

8 事務

笑顔、親切、丁寧、確実、正確を基本として、関係法令並びに、社会福祉法人ともえ会の諸規程、ともえ学園内規を遵守して日々行った。

9 防災管理

災害発生時は、速やかで適切な対応となるよう危機管理体制を充実させた。

消防訓練を反復し疑似体験を積むことを重要とし訓練を行った。

緊急時への対応能力向上を図った。

新任職員対象の防災研修会を実施した。

土砂災害を想定し避難訓練を行った。

10 安全運転管理

交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守と人に優しい交通マナーを実践し交通事故、交通違反を防止する為の取り組みを行った。

車輛の点検、整備を実施し車輛の故障、整備不良による事故が発生しないよう注意した。

トライザセーフティinひろしまへ11チーム参加。

11チーム中9チームが、150日間無事故、無違反を達成する事ができた。

11 危険物取扱者

地下タンク貯蔵所の灯油漏れを未然に防ぐため法律で定められた点検を定期的に行った。

12 運営会議

施設運営の決定機関として園長、次長、全ての部課長の8名で構成し、毎月、月初めに開催した。

13 支援部課長会議

支援部長と支援課長4名、看護課長 栄養課長で構成し、利用者処遇全般について協議し、運営会議に提案する。毎月1回、開催した。

14 個別支援会議

サービス管理責任者と支援課長4名、看護課長 栄養課長で構成し、利用者支援について意見交換、情報を共有し利用者サービスの向上を目指した。半年毎に各利用者の会議を設け、モニタリングとサービス内容について協議した。急遽変更等あった場合は必要に応じ会議を追加した。

15 朝礼

参加者は夜勤者、レインボーグループ早出1名以外の全出勤者とし、職員室を会場として毎日9時から実施した。各部署の日誌をプロジェクターからスクリーンに表示させ、担当者が発表した。参加者は夜勤者以外の全出勤者とし、職員室を会場として

毎日9時から実施した。

毎月9日にはAEDと人工呼吸器のチェックを行った

16 園内行事

一年を通して季節を感じる行事など、全体で参加出来る行事として学園内で計画実施した。新型コロナウイルス感染症予防の為、規模の縮小などした。

17 対外行事

芋掘り、葱の収穫体験に、ひろしま農業協同組合から招待していただいた。

18 外泊

新型コロナウイルス感染症予防の為、外泊は全て自粛していただいた。

19 虐待防止委員会

委員長：園長 委員：次長、部長、全課長の構成で、毎月定例の運営会議時に開催し、会議内容は運営会議録と共に全職員に周知した。

20 感染症対策委員会

委員長：園長 委員：次長、部長、全課長の構成で毎月定例の運営会議の時に開催し、会議内容は運営会議録と共に全職員に周知した。新型コロナウイルス感染症の罹患者が発生した期間中は毎朝各部署のリーダーとミーティングの時間を設けタイムラグなく情報の共有に努めた。その都度、マニュアルの見直しを行い、掲示板にて周知した。

21 危機管理委員会

委員長：園長 委員：次長、部長、全課長の構成で毎月定例の運営会議の時に開催し、会議内容は運営会議録と共に全職員に周知した。

22 衛生委員会

健康障害の防止、健康の保持増進対策の検討を行った。

労働災害の原因及び再発防止対策の検討を行った。

健康障害の防止及び健康の保持増進に関する重要事項の検討を行った。

23 人権委員会

毎月人権に関わる重点目標を掲げ全体で取り組むように各部署へ発信した。繰り返し目標を発信し 振り返ることによって人権意識の向上へ繋げた。

24 サービス向上委員会

サービス向上の企画、検討、提案、全職員対象にサービス自己評価チェックの実施を行った。

25 健康体操クラブ

新型コロナウイルス感染症のため昨年度に続き、講師不在で職員が主体として行った。

来年度は講師を依頼し、講師と相談しながら開催する予定。

26 フラワークラブ

講師の先生とのコミュニケーションも積極的に取られる利用者さんも増えている。
特に、はなまる利用者さんは、挨拶やお礼を積極的に伝えている。
終盤になって使用した花材の掲示を始めたが、好評だったので今後も行って行く。

27 書道クラブ

1月と6月「ふれあい書道展」に出品した。メンバー全員が出品でき、特選を取られる利用者も増えてきた。回を重ねる毎に上達されていた。

28 グラウンド・ゴルフクラブ

今年度もコロナ過の為、学園内でのグラウンド・ゴルフを行った。新年度は外出先でのグラウンド・ゴルフ大会を開催する。参加して楽しめた、良かったと思える企画も視野に入れる。

29 ボッチャクラブ

今年度、初めてのクラブ活動だった為、ボッチャに初めて触れる方も多く、難しかった。一年間の締めくくりとして、グループ対抗戦を実施した。

30 入浴

安全で安心して使用できる浴室の環境整備や管理を行った。

31 洗濯

洗濯室内を安全かつ清潔に使用できるように設備した。
洗濯係の会議を設け、洗濯室の改装や点検、清掃、雑巾の作成などを行った。

32 寝具

寝具の発注、搬入の事務を行い、在庫を適切に管理し、常に清潔な寝具を提供した。

33 営繕

要修繕箇所について、迅速、丁寧に対応し、必要に応じて業者に依頼した。
生活しやすい環境を整え整理整頓を行った。
施設も年数を重ね故障や点検を要するする場所が増えてきている。道具の保管と管理や整備もしっかりと行う。

34 食堂

食堂の環境整備、清掃、備品の管理を行い、毎日の食事を美味しく気持ち良く摂っていただける快適な空間と支援を提供するための企画検討を行った。

35 ともえ通信

ともえ通信の編集発行と、2023年度の事業報告書の編集発行を行った。

36 職員研修

研修の機会の提供・利用者支援技術の向上、障害者に対する人権意識、福祉に携わる人の心得を学ぶための研修会を開催した。

Web研修の講座の中から、職員に視聴して欲しい講座を選択し、その講座を紹介し意見感想を募り、係がまとめて周知した。

新任職員に対し、ともえ学園での業務内容について理解を求めると共に、適切な支援が出来る職員の育成を行った。

37 親の会

ともえ親の会の事務局を担当し、親の会活動の企画、立案、事業実施援助を行った。コロナ禍で懇親会は中止。その他は4年振りに開催した。

38 ボランティア・実習

新型コロナウイルス感染症予防のため、施設ボランティア、実習の受け入れは行わなかった。

39 掲示物

施設に届いた各方面からの広報誌や、情報、案内等を掲示し、周知した。

毎月、掲示物係の1名が福祉新聞、サポートを読み、お勧め記事の見出しと簡単な内容をサイボウズ掲示板に周知した。

40 見学

見学者の受け入れ調整と利用者の生活に配慮して見学の案内を行った。

新型コロナウイルス感染症対策の為、生活棟内の見学は行わず外観と管理棟を見ていただく事とし、説明等は管理棟玄関ホールにて行った。

41 福祉協会

広島県知的障害者福祉協会の各施設の支援スタッフ部会員として、施設から選任され参加。サービス提供における必要な視点、支援技術の情報交換や他施設の見学を通して話し合いを行った。

前年度はオンライン研修が主体であったが、今年度より対面での研修会を行った。

42 ホームページ

施設の情報公開と共有、交流をより深めるためすみやかな更新とコンテンツの充実を図った。ブログは毎日更新した。

43 施設整備

Wi-Fi設備工事

排水路草刈り

学園進入路伐木

居室壁面キッチンパネル貼付工事

リビング出入り口建具取り付け工事

管理棟トイレ改修工事

フェンス門扉取付工事

生活棟出入り口取付工事

スチームコンベクション更新

デスクトップパソコン更新

給湯配管漏水補修工事